



住民の窓

[敬称略]

赤ちゃん誕生おめでとうございます

氏名	性別	生年月日	父・母	行政区
鎌田 朔玖	男	R 4.12.23	一 稀・祐 衣	旭町区

おくやみ申し上げます

氏名	性別	年齢	死亡年月日	喪主	行政区
栗島 綾子	女	86	R 4.12.17	安 則	6 区
松尾 義信	男	91	R 4.12.22	麗 子	栄町区
桑野 照子	女	90	R 4.12.22	宏 仁	栄町区
世登 多恵子	女	75	R 4.12.23	守	銀座区
生駒 一 枝	女	97	R 4.12.24	義 博	1 2 区
小野 祐次郎	男	84	R 4.12.24	利 満	1 8 区
米山 一 雄	男	96	R 4.12.25	一 芳	2 3 区
伊藤 富美子	女	93	R 4.12.27	雅 美	9 区
山下 謙 二	男	77	R 4.12.28	眞佐子	しらかば区
吉野 巖	男	85	R 4.12.29	隆 司	1 4 区
逢坂 フジ子	女	92	R 4.12.30	利 一	2 4 区
村山 欽 一	男	87	R 5. 1. 3	中村晴美	銀座区
松嶋 八重子	女	88	R 5. 1. 6	重 雄	2 2 区
山本 榮 一	男	81	R 5. 1. 7	ミヨ子	2 9 区
駒谷 作 江	男	74	R 5. 1. 8	保 子	2 1 区
橋本 正 雄	男	85	R 5. 1.11	明 和	6 区
川南 シズ	女	91	R 5. 1.13	紺野眞喜子	本町区

*個人情報の適切な取扱いのため、承諾を得た方のみ掲載(1月15日受付分まで)

ご寄附ありがとうございます

■社会福祉協議会へ 《香典返しにかえて》

氏名	行政区	ご寄附の内容
伊東 和 敏	曙町区	母(セツ子)の死去に際して
栗島 安 則	6 区	祖母(綾子)の死去に際して
松尾 麗 子	栄町区	夫(義信)の死去に際して
世登 守	銀座区	妻(多恵子)の死去に際して
生駒 義 博	1 2 区	母(一 枝)の死去に際して
桑野 宏 仁	栄町区	母(照子)の死去に際して
米山 一 芳	2 3 区	父(一雄)の死去に際して
伊藤 雅 美	埼玉県	母(富美子)の死去に際して
山下 眞佐子	しらかば区	夫(謙二)の死去に際して
菊地 昭 子	あかね町区	夫(晃二)の死去に際して
中村 晴 美	千歳市	父(村山欽一)の死去に際して
駒谷 保 子	2 1 区	夫(作江)の死去に際して

《社会福祉事業基金》

氏名	行政区
伊勢 準 三	栄町区

団体名
ながぬま農協青年部

■長沼町へ 《ふるさと長沼応援寄附》

- ▼申込み件数…4,867件
- ▼寄附金額…81,552,000円(12月1日~31日受付分)

税

今月は、
 固定資産税・都市計画税(第4期)
 国民健康保険料(第8期)
 介護保険料(第8期)
 後期高齢者医療保険料(第8期)
 の納期です!

納期限 2月28日(火)

☆納税は便利な口座振替・スマホ収納で☆
 口座振替をご利用の方は、2月28日(火)に引き落としされます。前日までに通帳の残高確認をお願いします。

12月中に本町で発生した交通事故件数は次のとおりです。

事故件数 55件(人身事故 0件)
死者 0人 傷者 0人

(長沼町死亡事故ゼロ記録 12月31日現在)
令和4年1月18日以降 348日間

交通安全



タンチョウ博士のお話 (第31回)

ヒトには人種があるけれど、タンチョウには？

今、この文をお読みのあなたがA)「日本人?それともアメリカ人?」と問われたら、何と答えますか。多くのヒトは日本人と答えるでしょう。では、B)「東洋人?西洋人?」と言われたら、東洋人と答え、C)「地球人?宇宙人?」と聞かれたら、地球人と応じるはずだ。

では、では、D)「黒人?それとも黄色人?」と尋ねられたら、どう答えますか? この四つの質問は内容が同じではありません。A)は居場所に関わりなく、国籍による答えですし、B)は多少ヒトの姿・形が絡みますが、やはり出身地域と結びついています。C)は明かに居場所(地球という星)ですね。つまり、A)・B)・C)は、主にそのヒトの出身地に関わりのある問いと答えです。しかし、D)はヒトの容姿が決め手です。では、タンチョウで上のような「問い」と「答え」ができるでしょうか。

タンチョウは、今は日本(北海道)・中国・ロシアの3か国で主に繁殖しています。しかし、夏に中国やロシアにいても、冬は中国や朝鮮半島と一緒に暮らし、北海道へはめったに来ません。同じように、北海道と北方領土に住む個体はユーラシア大陸へは出掛けないようです。つまり、北海道と大陸という、地域を分けた二つの群れ(地域個体群)があるわけです。

では、住んでいる地域のほかに、二つの群れに、はっきりした違いがあるでしょうか?外国の研究者の中には、両者に行動などの違いがあり、同じタンチョウという種だけれど、亜種に分けようという人もいます。ただ、人種を生物学的に亜種と呼ぶのは、今のところ違和感を持たれているように、タンチョウを2亜種に分けるのもまだ確定したわけではありません。

ところで、北海道のタンチョウも、道東と道央という二つの地域に別れた群れが出来つつあります。しかし、道央の個体も道東から来て日は浅いので、二つの群れに姿や暮らしなどで基本的な違いはありません。

ただ、長沼町の番いは、道東で見られない行動をとることもあります。その一つが、道東での巣材は枯れヨシが普通なのに、長沼町の番いは、2年続けて別種の枯れた水草で巣を造りました。それも、近くにヨシがあるのに、です。二つ目は、道東では野生の餌のほかにトウモロコシや麦・豆などにも手(嘴?)を出しますが、コメはほとんど食べません。が、長沼町では秋に時々コメも食べ(写真)、水田を蒔にしたこともあります。



長沼町の水田で、イネの穂をくちばしで挟み、実をしごくようにして食べるタンチョウ (撮影 正富宏之)

タンチョウは環境に適応する能力が優れ、それ故に絶滅の危機から回復してきました。確かに、環境に応じて彼らは暮らしを変えますが、長沼町の例は群れとしてではなく、今のところ個体差によるとするのが正しい見方です。でも、長~い年月が経てば、やがて二つの異なる地域個体群になるかも…、というのが、今年の正月に私が見た夢です。(文:正富宏之)

タンチョウに関する質問を募集します!

→こちらまで
seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp

タンチョウに関して知りたいこと、質問がある方は、上記メールアドレスへご連絡ください。いただいた質問には、広報ながぬま2月・6月・10月号で掲載される「タンチョウ博士のお話」で正富先生が回答します。



【問合先】役場企画政策係 ☎76-8015